



株式会社 デンソーテン

本社／〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1-2-28
TEL.(078)-671-5081

www.denso-ten.com/jp/

人とクルマと社会の間に、デンソーテン。

もっと使いやすく、もっと楽しく、そしてもっと賢く。

クルマは移動手段という役割を超え、ひとりひとりに寄り添った、

ひとりにひとつのカーライフへと進化し続けています。

私たちは、クルマの安心・安全を実現する先進技術や

燃費の向上や排出ガスの低減を実現させる制御システム、

やさしく、分かりやすく人に情報を伝えるインターフェースの構築など、

これまで培ったクルマづくりの技術とICTを活用した「つながるテクノロジー」で

人とクルマ、社会とクルマをつなぎ、自由で快適なモビリティ社会の実現に貢献していきます。



ICTによる情報の相互利用、
シームレス化に適應し、ひとりひとりに
寄り添ったカーライフを実現します。



交通状況や駐車場の空き情報、目的地の天気をリアルタイム
で情報提供。さらに、ドライバーの気分や健康状態を察し、そ
の日、そのヒトに最適な情報をベストなタイミングでお届けす
ることをめざしていきます。

〔「快適・利便」分野で貢献する製品〕



快適・利便

Human Centric
Computing-System

燃費向上・CO₂排出量削減など
移動エネルギーの最適化を実現し
地球環境に貢献していきます。



燃費の向上や排出ガスの低減を実現させるシステムの開発
に積極的に取り組んでいきます。多様に進化する動力源の効
率化や制御する製品により、クルマはもちろん、街、社会全体
のエネルギー利用を最適化していきます。

〔「環境」分野で貢献する製品〕



ECU開発用シミュレーター
「CRAMAS(クラマス)」

ハイブリッド制御ECU

先進技術とつながるテクノロジーを駆使した
データ活用により、クルマの安心・安全を
社会全体に拡げていきます。



クルマと歩行者や街、道路情報をつなぐ安全運転支援シス
テムの実現をめざし、事故を未然に防ぐ、万が一のダメージを
最小限にするなど、さまざまな角度から安全運転をサポート
する製品を生み出していきます。

〔「安心・安全」分野で貢献する製品〕



「緊急通報システム」
対応テレマティクスユニット

安心・安全

Driver Support
System

環境

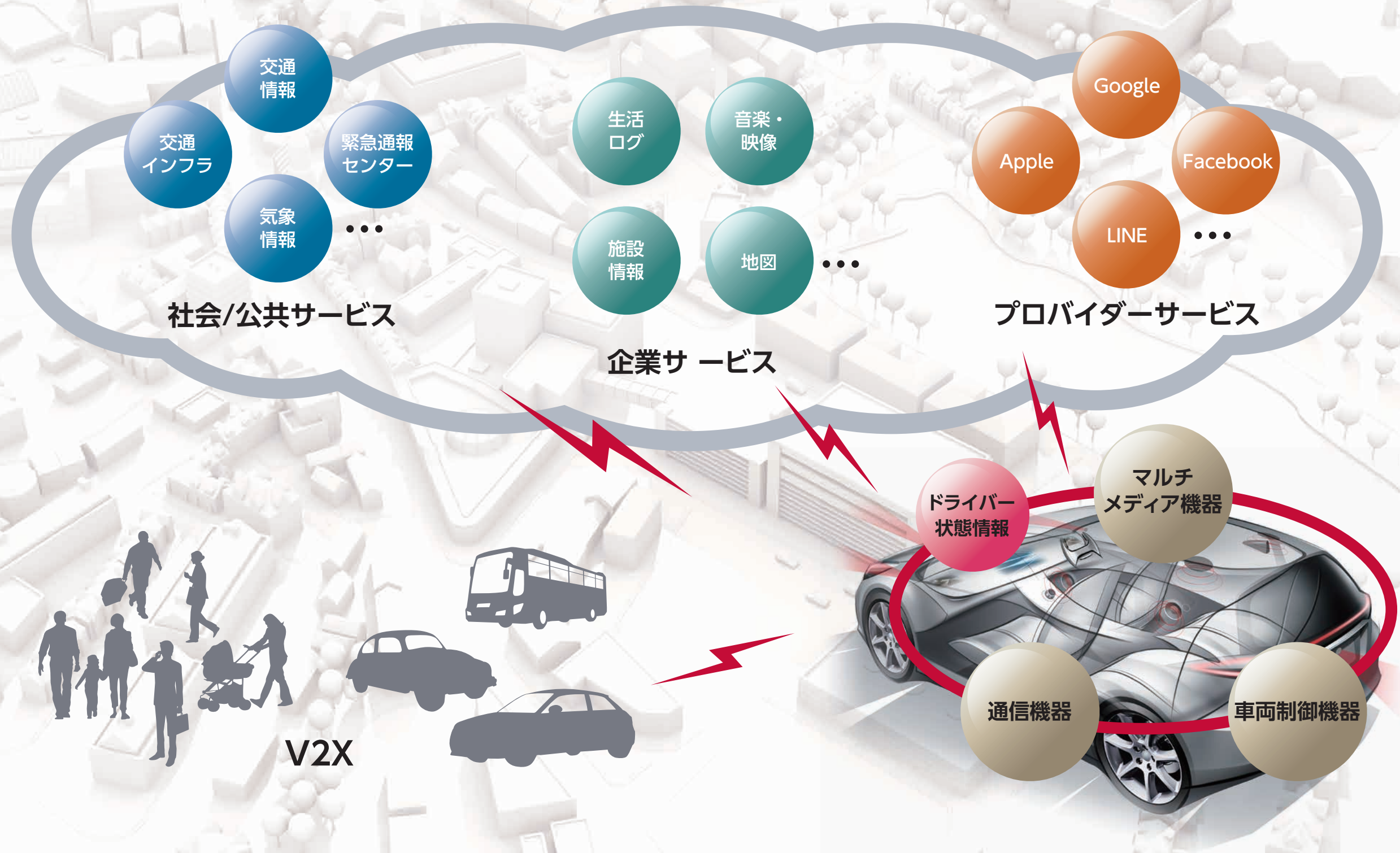
Power-train
Management System

ICTの力で
クルマを進化させる



つながるサービス *Future Link*®で、 新たなモビリティライフを提供。

個人の運転特性などの「人」に関わるデータ、
車載機器から得られる「クルマ」のデータ、
インフラやインターネットなどの「社会」のデータを
つなぎ合わせ、お客様一人ひとりに合わせた
新たな価値の提供をめざします。



ICTで、人、クルマ、社会をもっと安心・安全に。

クラウド連携で「今」の車両の位置や動態などを把握し、安全運転を効率的に支援する「業務管理システム」

通信型ドライブレコーダー(商用車向け) Future Link

高解像カメラによる映像や運行データの記録に加え、通信機能の搭載とクラウドとの連携で、リアルタイムに車両運行状況を把握し、安全走行や業務の効率化をトータルサポート。
自車両と車線までの距離計測による「ふらつき(車線逸脱)検知」や前方車両との車間距離を計測する「車間距離検知」のほか、車両走行データやヒヤリハット画像を基にドライバー毎の運転特性を分析し、安全運転指導・教育に活かすことができます。



CLOSE UP | 開発ストーリー

2005年にタクシー向けドライブレコーダーを初めて発売しました。当時、交通事故件数と負傷者数が増加傾向にあり、国土交通省がタクシーを用いたドライブレコーダーの実証実験を推進する中で、まずタクシー業界を中心に導入が進んでいきました。2006年には「ECLIPSE」ブランドとしてコンシューマー向けに発売し、2008年頃から自動車販売店装着オプションとして多く採用されるなど、乗用車への普及も進みました。その後、業務用ではデジタコ搭載や、クラウド連携、安全運転管理支援など「安全・安心・業務」をトータルサポートする商品として進化しています。2016年にはドライブレコーダー内蔵ナビを発売し、市場で高い評価を得ています。



2005年
業務用OBVIOUSレコーダー



2016年
ドライブレコーダー内蔵ナビ

緊急時に自動で緊急通報センターへ通報し、万が一の場合にドライバーを迅速に救援。

「緊急通報システム」 対応テレマティクスユニット



テレマティクスユニット



コールボタン

車両事故などの緊急時に自動で通報する「緊急通報システム」に対応したテレマティクスユニットです。
衝突検知による自動発呼、コールボタンによる手動発呼、データ送信、コールセンターからの呼び出し応答などの機能を備えています。

衝突時にエアバッグを正確に、的確に作動。
ドライバーの安全確保に貢献します。

エアバッグ制御ECU



衝突時、センサーが反応するとステアリング部などに内蔵されたエアバッグを的確に作動させ、ドライバーや乗員への衝撃を分散・緩和。同時にシートベルトの働きも補助します。

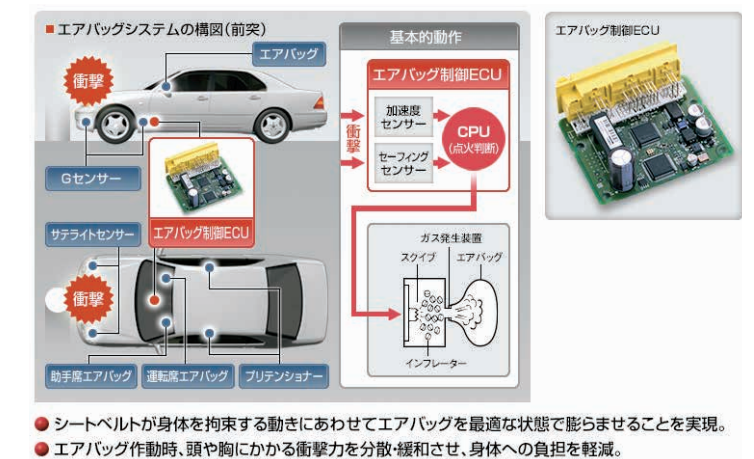
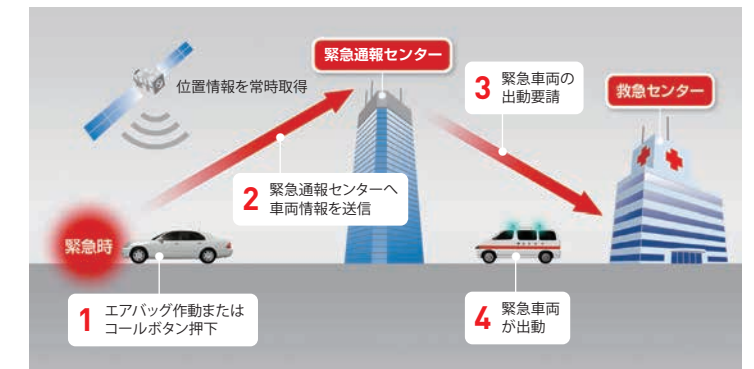
クルマの異常事態を素早くキャッチ。
断続的に警報音を鳴らし車両盗難を防ぐ。

盗難防止装置(VSS)



車両への不正な侵入やクルマの異常事態を素早く検知。ドアの無理な開閉やウインドウガラスへの衝撃時に警報サインを出し、車両盗難を防ぎます。

緊急通報システム概念図



快適・利便

Human Centric Computing-System

ストレスなくスムーズに、そして楽しく。
ひとりひとりに最適な情報でさらなる心地よさを。

「つながるテクノロジー」で
ドライブをもっと楽しく、アクティブに。

カーナビゲーション・カーオーディオ

デンソーテンのカーナビゲーションは、市販ブランド「ECLIPSE」として高い評価を得ています。また、情報の双方向化・シームレス化により、マルチメディアのコンテンツを楽しむだけでなく、ICTを活用した地図情報の更新や最新施設情報の検索など、つながるサービスも積極的に展開。ドライブをより快適に、より便利にしていくサービスを提供します。

ECLIPSE



CLOSE UP Wi-Fiで自動地図更新ナビ Future Link。

ICTの進歩により、更新の手間をかけずに、最新の地図情報をカーナビに反映させる、新たなサービスが生まれています。お手持ちのスマートフォンを介して、センターにアクセスし新たに開通した道路の差分情報をナビに反映。その他、新施設や駐車場の空き状況を探査できるなど常に新しいデータを活用したナビゲーションを実現しています。



さらなる快適な移動空間を日本中へ、世界へ。
長年培ってきた独自の開発ノウハウをOEM製品として供給。

自動車メーカー向け製品

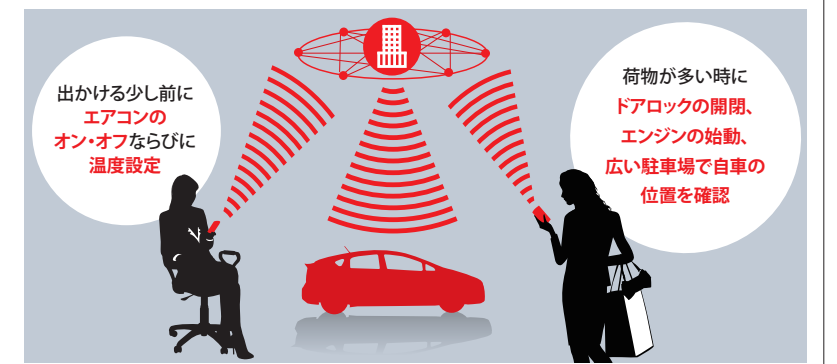
デンソーテンでは、トヨタクラウンに納入したカーラジオからはじまり、つねに最先端のサウンドシステムを開発してきた歴史があります。ラジオ、カセットテープからCD、MD、TV、そしてカーナビゲーションへと目まぐるしく変遷するメディアをいち早くクルマに搭載してきました。長年にわたり車両の企画時点から関わってきたシステム開発のノウハウにより、世界の自動車メーカーとのコラボレーションを実現しています。



トヨタ「クラウン」採用「次世代プレミアムサウンドシステム」

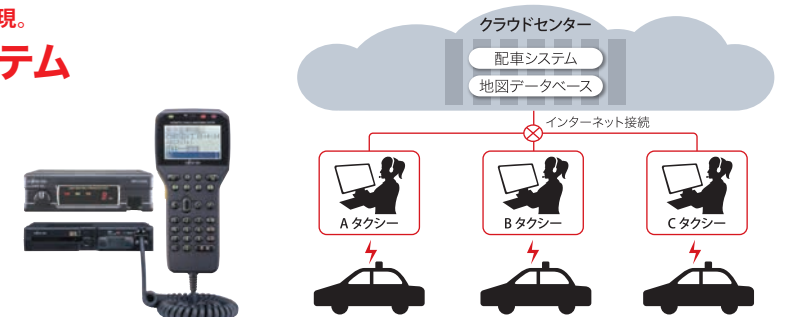
スマートフォン連携 リモートエンジンスタートシステム

インターネット・携帯電話回線網を活用し、従来の車両キーレスリモコンよりもさらに遠い場所から遠隔操作を行うことができます。ユーザーは事前に専用アプリケーションをダウンロードし利用登録をすることにより、エンジンの始動はもちろん、ドアロック開閉、エアコンのオン・オフ、室内の温度設定の操作が可能です。また、クルマの状態をスマートフォン画面で確認することもできるなど、利便性も向上しています。



タクシーの計画的車両配置や効率的な流し運行を実現。 クラウド型タクシー配車システム

車両位置情報などを利用し、配車受付時にお客様の最寄り車両を自動で検索する、スムーズでスピーディなタクシー配車システムです。これまでタクシー会社毎に所有していた配車管理機能をクラウドセンターに集約させることで、気象情報やイベント開催情報など様々なビッグデータと連携して、タクシーの計画的な車両配置や効率的な運行をサポートします。



「タイムドメイン理論」に基づいた独創の技術で
演奏に込めた感情までも正確に再現。

ホームオーディオシステム

「録音された通りの音をリスニングルームで再現する」を開発コンセプトに掲げ、革新的な音響理論「タイムドメイン理論」を採用。音の評価・解析、研究開発を行う「音響開発センター」を備えた当社の音へのこだわりは、クルマの中だけにとどまらず、ホームオーディオの分野にも新たなスタイルを創出します。



音響開発センター「スタジオf」



制御技術で移動エネルギーを最適化し クルマ社会が直面する環境問題に貢献。

2種類の動力源を最適に制御させ ハイブリッド車のさらなる低燃費を実現。 ハイブリッド制御ECU

ハイブリッド車両は、無回転時に最大トルクを発生するモーターと高回転で高出力を発生するガソリンエンジンの長所を組み合わせることで、従来のガソリン車と比較し大幅な低燃費とCO₂排出量の削減を実現できます。デンソーテンのハイブリッド制御ECUは、2種類の動力源（ガソリンエンジンと電気モーター）を最適に制御し、燃費向上および、排出ガスの低減を実現させるシステムです。また、開発ツールとして、業界最速クラスの演算能力を有する高速シミュレーション用モーターボードおよび、専用モーターモデルを提供しています。



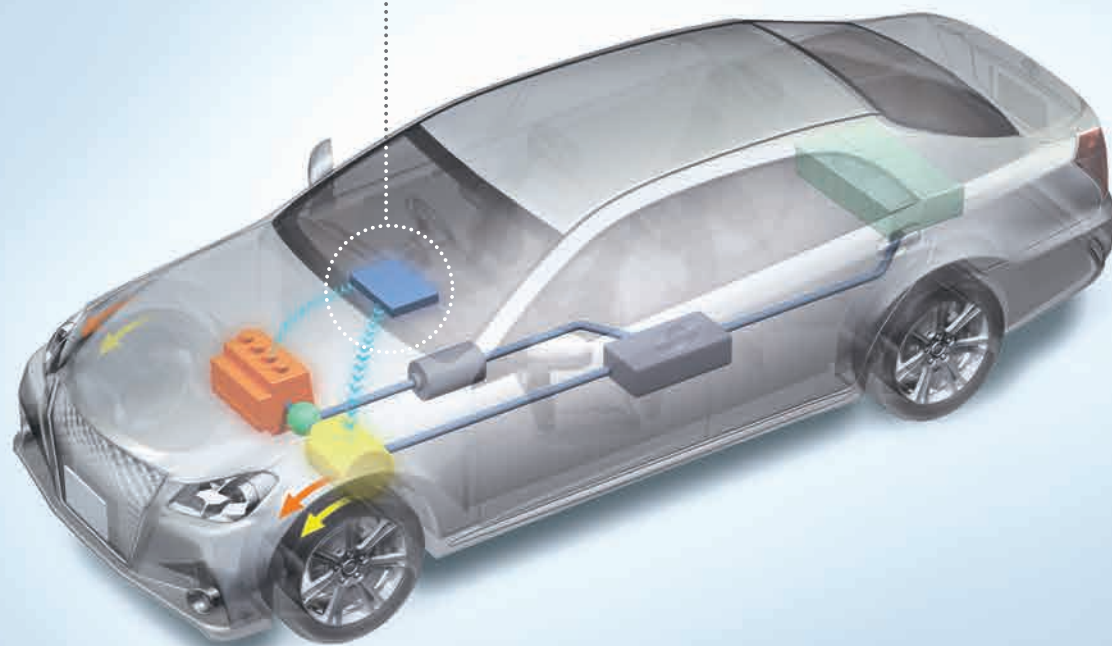
エンジンルームへECUの搭載も可能。 燃料噴射量および点火時期を最適に制御。 エンジン制御ECU

走行性能を高め、排気ガスの有害成分を低減させる高性能クリーンエンジンの実現をサポート。マイコンにより、必要燃料を正確に供給するほか、点火時期のタイミングやトランスミッションの制御も行います。



バッテリーの充電と放電を管理することで 無駄を省き、クルマの寿命延長に貢献。 パワーマネジメント制御ECU

バッテリーの充電と放電を管理。オルタネーター（発電機）に無駄のない必要量の充電指示を行い、燃費改善とバッテリーの寿命延長に貢献します。



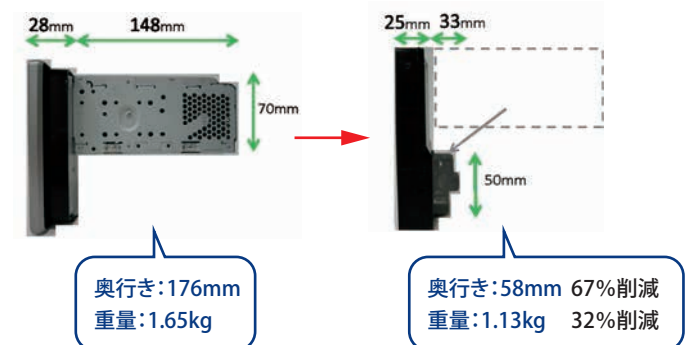
デンソーテンでは、「クルマにかかわるすべてをGreenに」を掲げ、トップレベルの環境性能を有した製品を提供するとともに、クルマづくりのあらゆる段階で、環境負荷低減に取り組んでいます。

スーパーグリーン製品の開発

製品のライフサイクルのあらゆる段階での環境負荷低減を図るため、環境アセスメントのしくみを確立。環境アセスメントで一定基準をクリアした上で、省エネ・省資源等で顕著な改善を実施した製品を「グリーン製品」と認定しています。さらに環境配慮レベルが自社あるいは他社の製品と比較してトップグループにあるグリーン製品を「スーパーグリーン製品」とする基準も整備し、環境配慮設計の開発を推進しています。

【開発事例】

大幅な省スペース化、軽量化を実現した薄型ディスプレイオーディオを開発しました。部品構成を抜本的に見直し、チップを小型のものに置き換える等により、基板を1枚に集約。これを縦型に配置することで、省スペース化を実現しました。



【スーパーグリーン製品認定基準の整備】

スーパーグリーン製品認定基準に「環境貢献技術」の評価項目を追加し、燃費向上、CO₂低減等、環境に貢献する機能を有した製品（環境貢献製品）の開発を、一層推進しています。

□環境貢献製品例：ストップ＆スタート制御ECU

ドライバーの停止操作／車両発進を検出し、エンジンの停止／再始動を自動で制御することで、停車時のCO₂排出を抑えます。



CLOSE UP | ECU開発用シミュレーター

近年、自動車の制御技術の高度化により、車載ECU*の機能が大幅に拡大。そのため機能開発や信頼性評価に要する時間も、大幅に増加しつつあります。その課題を解決するため、デンソーテンではECUなどの機能・性能評価を自動車に搭載したときと同等条件で実施可能とするECU開発用シミュレーター「CRAMAS(クラマス)」を設計。車両走行実験と組み合わせることで、開発期間の短縮はもちろん、効率的で環境にやさしく、品質の向上につながる開発を実現しています。

*Electronics Control Unit: 電子制御式機器

ECU開発用シミュレーター 「CRAMAS(クラマス)」



クルマに搭載した状況をシミュレーション



研究・開発

Research and Development

世界各国の市場に向けた製品・サービスを提供するため、デンソーテンは研究開発をグローバルに展開しています。

東京事業所

ソフトウェア開発

次世代車載プラットフォーム構築に向けたソフトウェア技術の開発など、デンソーテンの中でも最先端の技術の研究・開発を担っている拠点で、グローバルにつながるシステム（サービス・車載器）の企画開発を行っています。



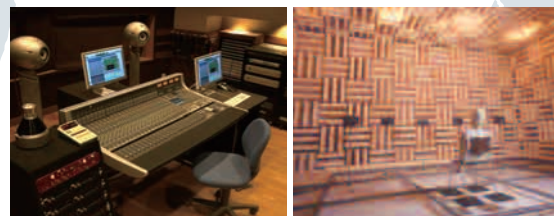
中津川テクノセンター

電子機器製品に影響をおよぼす電磁波の評価・研究を推進する「EMCテストラボ」やさまざまな試験コースを設定し追尾性能・受信感度試験など多岐にわたる実車試験が行える「車両走行実験場」を完備し、より高性能で安心・安全な製品の実現をめざしています。



音響開発センター

車載用のオリジナル音楽ソフト作成が行える「スタジオf（フォルテ）」や車室内でさまざまなテストを実際に行う「車室内音響測定」、精密メカの騒音解析を行う「無響室」など、音そのものの研究から多様化するメディアに対応した信頼ある製品づくりまでを支える、総合音響開発施設です。



世界に広がるデンソーテンの生産ネットワーク。
国内外工場でISO/TS16949を取得し、徹底した品質管理を行っています。

拡大する世界の自動車市場に対応するため、デンソーテンではグローバルに生産体制を敷いています。特に、国内生産拠点である中津川製作所、小山製作所をグループのマザー工場と位置づけ、最先端の生産技術を開発、海外工場に展開、国際競争におけるモノづくり力の強化を行っています。



中津川製作所



小山製作所

ワイヤーボンディング接続システム

高周波センサーモジュール接続に、ワイヤーボンディングシステムを採用。最先端のクルマづくりに欠かせない小型、高密度化、高品質な製品づくりを実現しています。



耐久テスト

カーナビゲーションの信頼性を評価する上で、長期間使用した場合の、各操作系に対する耐久性をテストします。



エンジン制御ECU高速組立ライン

製品設計と工程設計の連動により、組立・検査の簡素化、高速化、高精度化を実現。無人高速検査システムなどを駆使したスリム化高速組立ラインです。



Flat-DIP装置

多品種生産を実現する鉛フリーはんだ付け装置を独自に開発。国内外の9工場で導入しています。（特許 第39426235号）



電磁界シミュレーション

製品の開発時間短縮・低コスト化が求められる中、設計初期段階でのEMC設計を支援する取り組みとして、製品内部から発生する電磁波を視覚化する電磁界シミュレーション技術を活用。スピーディな製品開発に貢献します。





社会・ 環境活動

Society and Environment

企業行動宣言（CSR方針）に基づき、社会の一員であることを自覚し、企業活動を通じてより豊かな社会・地域づくりに貢献します。

環境貢献活動

デンソーテングループでは、植樹や間伐、稚魚の放流といった生物多様性保全のための活動をグローバルに行っています。また、地域のクリーン化をめざし、各事業所周辺の道路や歩道、公園などのゴミ拾いを実施。社員一人ひとりが地域社会の一員として自主的に環境活動の輪を広げています。



須磨海岸クリーン作戦



アメリカでの間伐ボランティア

文化社会活動

音に携わる企業として培ってきた音響技術と企業風土を活かし「音を通じて社会に貢献する」という考えのもと、各種音楽イベントの協賛や音楽情報サイト「KOBEnjazz.jp」の運営など、当社独自の活動を行っています。



スポーツ振興

デンソーテングループは、スポーツを通じた地域・社会活性化にも積極的に取り組んでいます。当社女子バレーボール部は「さまざまな活動を通じて社会・地域のみなさとつながりを持ち、貢献していく」という考えのもと、ママさんチームや小・中学生チームを対象としたバレーボール教室や地域清掃、Webサイトの開設など幅広く活動しています。



社名「デンソーテン」の「テン」は、最高・至上を意味する「天」のことです。

中国古典の「中庸」に「誠は天の道なり。これを誠にするは人の道なり。」という一節があり、「誠」を企業経営の基本理念として大切にしています。

企業理念 誠

私たちは、「誠」を大切に働き
お客様・社会に貢献します。

●お客様第一・品質至上

私たちは、お客様に役立つことを第一に考え、最高の品質で期待の先を行く商品を生み出します。

●社会への責任・貢献

私たちは、社会の一員であることを自覚し、企業活動を通してその責任を果たし、貢献します。

●働きがい

私たちは、一人一人が誇りを持って働き、能力を発揮し、達成の喜びを分かち合う「場」を実現します。

企業行動宣言（CSR方針）

私たち、デンソーテンは、製品の提供を通じて人と車のより良い関係づくりに貢献し、国際社会・地域社会から信頼される企業をめざします。

【お客様】

顧客第一、最高の品質、期待の先を行く製品・サービス
安全性、品質の向上
個人情報の保護

【従業員】

人権尊重
強制労働・児童労働の禁止
働きがいの実現
公正な労働条件、安全な労働環境

【取引先】

共存共栄の実現
透明で公平な取引機会、公正な関係

【株主】

企業価値の向上

【環境】

環境負荷の低減

【社会】

適切な情報開示
国際ルール、各地域のルールの遵守
公権力との適正な関係
反社会勢力との関係遮断

【社会貢献】

豊かな社会・地域づくりへの貢献

※「企業行動宣言」の全文は、弊社HPにて掲載しておりますのでご覧ください。

エコビジョン

I.コミットメント（～2050年）

環境と経済の両立が経営の重要課題と認識し、全ての企業行動を通じて、環境・エネルギー問題の解決と自然との共生を図り、人と車と環境のよりよい関係づくりを推進します。

また社会が直面する重要環境課題に果敢に挑戦し持続可能な地域・社会に向けた、新たな環境価値を創造し、地球を守り、次世代に明るい未来を届けます。

コミット2050：温室効果ガスの人為的な排出と吸収のバランスを達成する（ゼロエミッション）

II.環境方針（～2025年）

グローバルに構築した環境マネジメントシステムの枠組みを通じて、デンソーグループのエコビジョンを環境取り組みプランに反映し推進します。

※「エコビジョン」の全文は、弊社HPにて掲載しておりますのでご覧ください。

経営の歩み

- 1920(大正9)年
 - 川西機械製作所創立
- 1949(昭和24)年
 - 神戸工業㈱設立
- 1967(昭和42)年
 - デンオンキョー㈱設立(現 富士通デンマンユファクチュアリング㈱ 小山工場)
- 1968(昭和43)年
 - 神戸工業㈱、富士通㈱が合併、ラジオ部門は富士通㈱神戸工業部の所属となる
- 1972(昭和47)年
 - 富士通㈱からラジオ部門が分離・独立、富士通デン㈱設立(資本金5億5千万円)
- 1973(昭和48)年
 - 資本金を10億円に増資
 - トヨタ自動車工業㈱、日本電装㈱の資本参加を得る
- 1975(昭和50)年
 - 中津川デン㈱設立(現 富士通デンマニュファクチュアリング㈱ 中津川工場)
- 1979(昭和54)年
 - 資本金を13億円に増資
- 1984(昭和59)年
 - 本社工場内にモートロニクス棟建設
- 1985(昭和60)年
 - 本社工場内に製造棟建設
 - 資本金を33億円に増資
- 1987(昭和62)年
 - 中津川デン㈱吸収合併
 - FUJITSU TEN CORP. OF AMERICA ラッシュビル工場完成
- 1989(平成元)年
 - 本社工場内に技術棟建設
 - シンボルマークを一新

- 1990(平成2)年
 - 本社工場内に「音響開発センター」開設
- 1991(平成3)年
 - 中津川工場内に製造棟増設
 - FUJITSU TEN CORPORATION OF THE PHILIPPINES工場完成
 - 資本金53億円に増資
- 1994(平成6)年
 - 富士通デン社会貢献基金設立
- 1995(平成7)年
 - 阪神大震災により本社工場4日間操業停止
- 1996(平成8)年
 - 欧州においてカーオーディオの生産開始
 - 品質保証システムの国際規格ISO9001:1994の認証を取得
- 1997(平成9)年
 - FUJITSU TEN de MEXICO,S.A. deC.V.工場完成
 - 中津川テクノセンター開設
 - 天津富士通天電子有限公司工場完成
 - 環境管理システムの国際規格ISO14001の認証を取得
- 1998(平成10)年
 - 米国ビッグ3(GM、フォード、ダ임ラークライスラー)が制定している品質管理基準QS-9000の認証を取得
 - カーオーディオ業界で初めて、部品調達に電子かんばんの運用を開始
- 1999(平成11)年
 - 神戸物流センター開設

- 2000(平成12)年
 - 環境会計導入
 - 中津川テクノセンターが国際規格ISO/IEC17025に基づくEMCサイト認可取得
- 2002(平成14)年
 - FUJITSU TEN (THAILAND) COMPANY LIMITEDに工場完成
 - 鉛フリーはんだを使用したカーAV製品を市場投入
 - カーエレクトロニクスメーカーで国内初、モートロニクス本部がCMMレベル3評価を達成
- 2003(平成15)年
 - 豊田物流センター開設
 - 国内全生産拠点でゼロエミッション達成
- 2004(平成16)年
 - 富士通天電子(無錫)有限公司工場完成
- 2005(平成17)年
 - 「愛知万博(愛・地球博)」の協会企画催事のひとつ「愛・地球メッセージイベント」の「愛・地球セッション」コンサートに協賛
 - 品質保証システムの国際規格ISO/TS16949:2002の認証を取得
- 2007(平成19)年
 - 国内全グループ会社で環境管理システムの国際規格ISO14001の統合認証を取得
 - FUJITSU TEN SOLUTIONS PHILIPPINES,INC.が「CMMI」のレベル3を達成
 - FUJITSU MANUFACTURING ESPANA,S.A.を子会社化
 - FUJITSU TEN ESPANA,S.A.として新たにスタート
 - カーAV製品の生産累計1億台達成
- 2008(平成20)年
 - 富士通天電子(無錫)有限公司工場増築

- 2010(平成22)年
 - 富士通デンサービス㈱設立
 - 執行役員制度導入
 - ㈱テクノセプタを子会社化、富士通デンテクノセプタ㈱に社名変更
- 2011(平成23)年
 - 東日本大震災国内工場において操業一部停止、海外工場においても国内向け製品の生産一部停止
 - FUJITSU TEN DO BRASIL LTDA 設立
- 2012(平成24)年
 - 国内マーケット事業拡大のため、国内3つの販売子会社を統合し、富士通デン販売㈱設立
 - 中国ビジネス統括会社 富士通天(中国)投資有限公司設立
 - インドに製造合弁会社 FUJITSU TEN MINDA INDIA PRIVATE LIMITED 設立
 - インドに販売合弁会社 MINDA F-TEN PRIVATE LIMITED設立
- 2013(平成25)年
 - PT FUJITSU TEN AVE INDONESIA 設立
 - 川崎センサ開発センター 開設
- 2014(平成26)年
 - 中津川工場と㈱栃木富士通デンを統合、富士通デンマニュファクチュアリング㈱設立
- 2017(平成29)年
 - (株)デンソーデン設立
- 2019(平成31)年
 - (株)デンソーデンマニュファクチュアリングおよび(株)デンソーデンリサーチを(株)デンソーデンに吸収合併

~1989

1990~

2000~

2010~

製品の歩み

- 1955(昭和30)年
 - トヨタ「クラウン」用カーラジオ納入開始
- 市販用カーラジオ製造開始
- 1956(昭和31)年
 - タクシー用無線機の製造開始
- 1959(昭和34)年
 - オールトランジスタカーラジオ開発
- 1967(昭和42)年
 - 8トラック方式カーステレオ発売
- 電子制御燃料噴射装置(EFI)のコントロールユニットをトヨタ自動車㈱に納入開始
- 1982(昭和57)年
 - MCA無線装置発売
 - 車高制御装置をアイシン精機㈱と共同開発、同社に納入開始
- 1983(昭和58)年
 - パーソナル無線機「パソコールパイヨ」発売
 - ディーゼル車用プリヒートタイマーをトヨタ自動車㈱に納入開始
 - 車載用CDプレーヤーをトヨタ自動車㈱と共同開発
- 電子制御燃料噴射装置(EFI)のコントロールユニットをトヨタ自動車㈱に納入開始
- 1984(昭和59)年
 - 盗難防止(セキュリティ)機器をトヨタ自動車㈱に納入開始
- 1985(昭和60)年
 - 車両一体音響システム「ライブサウンドシステム」をトヨタ自動車㈱と共同開発、同社に納入開始
- 1987(昭和62)年
 - カーナビゲーションシステム発売
- 1988(昭和63)年
 - 車載用DATプレーヤー発売
 - 米国市販市場向けにカーオーディオの新シリーズ「ECLIPSE」発売
- 1989(平成元)年
 - 車載用DSPサウンドプロセッサーを開発、カーオーディオの新シリーズ「αシリーズ」発売
- 1973(昭和48)年
 - 安全ベルト制御および排出ガス制御用電子機器をトヨタ自動車工業㈱に納入開始
- 1977(昭和52)年
 - コンポネントカーステレオ発売
- 1978(昭和53)年
 - クルーズコントロール用電子機器をトヨタ自動車工業㈱に納入開始
- 1979(昭和54)年
 - 電子同調ラジオおよび録音機能付カーステレオをトヨタ自動車工業㈱に納入開始
- 1980(昭和55)年
 - テンAVMシステム発売
 - コンポネントカーステレオ「パイヨ」発売
- 1981(昭和56)年
 - 電子制御自動変速装置用電子機器をアイシン精機㈱に納入開始

- 1991(平成3)年
 - 最高級カーオーディオ「Sound Monitor」発売
- 1992(平成4)年
 - アンチロックブレーキシステム(ABS)のコントロールユニットをトヨタ自動車㈱に納入開始
- 1993(平成5)年
 - 車両運行管理システムを㈱朝日セキリティシステムズと共同開発、同社に納入開始
- 1994(平成6)年
 - 車載用マルチメディアプレーヤー「CAR MARTY」発売
- タクシー用CTI(Computer Telephony Integration)自動配車システムを発売
- 1998(平成10)年
 - 60GHz帯自動車用スキャン型ミリ波レーダーを開発、サンプル出荷開始
 - DVDカーナビゲーションシステム発売
 - 自動車制御用ECU開発ツール、リアルタイムシミュレーター「CRAMAS」開発
- 1999(平成11)年
 - 76GHz帯自動車用スキャン型ミリ波レーダーを開発、サンプル出荷開始
 - 自動車エンジン制御用電子機器の累計1,000万台達成
- 車間距離警報装置「レーザーアラーム」発売
- 1995(平成7)年
 - 国内市販市場向けにカーオーディオの新シリーズ「ECLIPSE」発売
- 1996(平成8)年
 - カーナビゲーション用VICSユニットをトヨタ自動車㈱に納入開始
 - ディーゼル黒煙浄化制御ECUを㈱豊田自動織機製作所と共同開発・同社へ納入

- 2000(平成12)年
 - 車載用DVDシステムでハース効果を応用した車載用DVD5.1ch再生システム開発
 - DVDナビゲーションとオーディオビジュアルを2DINサイズに集約したDVD-AVNをトヨタ自動車㈱に納入開始
 - 「ECLIPSE」をアジアで発売
- 2001(平成13)年
 - タイムドメイン理論を用いたホーム用卵型スピーカーとパワーアンプ「ECLIPSE TD」発売
- 2002(平成14)年
 - タイムドメイン理論を用いた車載用スピーカーをECLIPSE Sound Monitorとして販売
 - 20GBハードディスクを2基搭載したカーナビゲーションシステム発売
- 2003(平成15)年
 - 「AVN」を㈱ホンダアクセスに用品として納入開始
 - 通信機能により地図などの情報を取り込めるカーオーディオ「i-audio」発売
 - 「76GHz帯ミリ波レーダー」を本田技研工業㈱に納入開始
- 2004(平成16)年
 - 「AVN」を米国、中国にて「ECLIPSE」ブランドで発売
 - 車載用TVアンテナとGPSアンテナをフィルム型に統合した「TV/GPS一体型フィルムアンテナ」開発
- 2005(平成17)年
 - 「DUAL AVN」と「1DIN AVN」を発売
 - 地上デジタルテレビチューナーを発売
 - ドライブレコーダーを発売
 - 「AVN」を欧州にて「ECLIPSE」ブランドで発売開始
- 2006(平成18)年
 - 車の天井材を振動させて音を出す「ヘッドライナーズスピーカーシステム」をトヨタ紡織㈱と共同開発
 - 「AVN」をオーストラリアにて「ECLIPSE」ブランドで発売
 - トヨタ自動車㈱が開発した後方ブリクラッシュセーフティシステム向けに76GHz帯ミリ波レーダーを納入
- 2007(平成19)年
 - インターネットの情報を携帯電話でナビに取り込めるECLIPSE2007年夏モデル発売
 - ナビ部着脱型オーディオ一体カーナビゲーションを米国・欧州・豪州で発売
 - ハイブリッド車用ECUをトヨタ自動車㈱に納入開始
 - 地デジチューナー・B-CASスロットを本体に内蔵した「AVN」発売
- 2008(平成20)年
 - 次世代音響空間コントロールシステムを開発、新型クラウンの「トヨタプレミアムサウンドシステム」に採用
 - メモリーナビゲーション「AVN Lite」を発売
 - ホンダ新型「ライフ」向けに「ディスプレイ付カーオーディオ」を納入
- 2009(平成21)年
 - トヨタ自動車㈱が開発した、「前側方ブリクラッシュセーフティシステム」向けに、76GHz帯ミリ波レーダーを納入

- 2010(平成22)年
 - 車両の周囲を様々な視点から立体的な俯瞰映像で確認できる「マルチアングルビジョン™」をトヨタ自動車㈱に納入開始
- ポータブルナビゲーション「EP001」発売
- 2011(平成23)年
 - 車載用ディスプレイの直射日光補正機能を搭載したLSI「Vivid View Processor™3」を開発
- 2012(平成24)年
 - スマートフォンでタクシーが呼べる「すぐるタクシー 東京無線版」を開発、東京無線㈱よりサービス開始
 - 「クルマでDS」対応&業界最大級「9型大画面」ECLIPSEカーナビ2012年夏モデル発売
- 2013(平成25)年
 - 「Wi-Fi®」接続機能搭載ECLIPSEカーナビ2013年秋モデル発売
 - 自然な対話で目的地検索ができる対話型エージェントアプリ「CarafL」リリース
- 2014(平成26)年
 - 全国の地図が自動で更新されるECLIPSEカーナビ2014年秋モデル発売
- 2015(平成27)年
 - デジタル無線、IP無線の両方に対応した「クラウド型タクシー配車システム」発売
 - ヒヤリハット画像自動抽出機能を搭載したクラウド連携業務用ドライブレコーダー「G500」発売
- 2016(平成28)年
 - ドライブレコーダーを内蔵したカーナビ「録ナビ」を発売
- 2018(平成30)年
 - 「次世代プレミアムサウンドシステム」が、トヨタ新型「クラウン」に採用
- AI(人工知能)を活用した、『タクシー乗車需要予測サービス』の販売を開始